

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 【下野市の概要】

平成28年 2月 3日
下野市教育委員会

1 平成27年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

- ◇参加校 下野市立小学校12校(第5学年)、中学校4校(第2学年)(全校参加)
- ◇実施時期 平成27年4月～7月
- ◇体力テスト種目
 - ①握力②上体起こし③長座体前屈④反復横とび⑤20mシャトルラン⑥50m走
 - ⑦立ち幅とび⑧ボール投げ(小学校ーソフトボール、中学校ーハンドボール)
- ◇体格調査項目
 - ①身長②体重
- ◇運動習慣等調査質問内容
 - ①運動の好き嫌い②運動の得意不得意③運動部所属状況
 - ④学校の体育以外での運動やスポーツについて
 - ⑤体育の授業について⑥入学前や現在の状況について 等

2 体力・運動能力結果について

(1) 全国平均との比較から見える平成27年度の調査結果(全体比較)

下野市と全国平均との比較										
◎上回っている(3点以上) ○やや上回っている(3点未満) ー同じ(±0.3点未満)										
▽やや下回っている(3点未満) ▼下回っている(3点以上)										
		握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ボール投 げ (m)	体力合 計点 (点)
小5男子	H25	▼	ー	▼	▽	ー	▽	▽	▽	▽
	H26	▼	▽	▽	○	○	▽	ー	▽	▽
	H27	▽	▽	▼	○	▽	▽	▽	▽	▽
中2男子	H25	▽	ー	○	◎	○	○	○	▽	○
	H26	▽	▽	○	◎	○	○	○	○	○
	H27	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小5女子	H25	▼	○	▽	○	○	ー	▽	○	▽
	H26	▼	▽	ー	○	▽	▽	▽	▽	▽
	H27	▽	▽	▽	○	○	▽	ー	▽	▽
中2女子	H25	○	○	○	◎	○	○	○	▽	◎
	H26	▽	▽	○	◎	○	○	○	○	○
	H27	○	▽	○	○	▽	○	○	▽	○

* T得点での差(点)で比較している。

* T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。全国平均値を50点とする。

ア 男子の調査結果について

- ・体力合計点は、中学2年生は全国平均をやや上回ったが、小学5年生は全国平均をやや下回った。
- ・小学5年生が全国平均を上回ったのは、反復横とびのみであった。全国平均を下回った中でも、長座体前屈の落ち込みが大きかった。
- ・中学2年生は、全ての種目で全国平均を上回った。特に50m走と反復横とびは、上回り方が大きかった。
- ・昨年度に比べて、握力に改善の傾向が見えた。

イ 女子の調査結果について

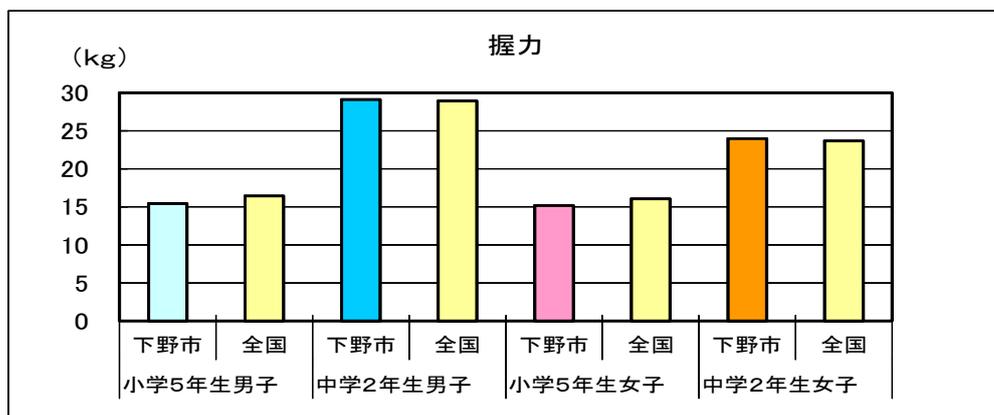
- ・体力合計点は、中学2年生は全国平均をやや上回ったが、小学5年生は全国平均をやや下回った。
- ・小学5年生は、反復横とびと20mシャトルランのみ全国平均を上回った。全国平均を下回った中でも、握力と長座体前屈の落ち込みが大きかった。
- ・中学2年生は、5種目で全国平均を上回った。昨年度に比べ、20mシャトルランとボール投げで全国平均を下回った。

ウ 男女共通して見られる特徴について

- ・小学5年生では全国平均を下回る種目が多いが、中学2年生では全国平均を上回る種目が多かった。
- ・反復横とびは、今年度も小学5年生、中学2年生ともに全国平均を上回った。敏捷性の優位性が認められた。
- ・昨年度に比べ、握力での向上が見られた。

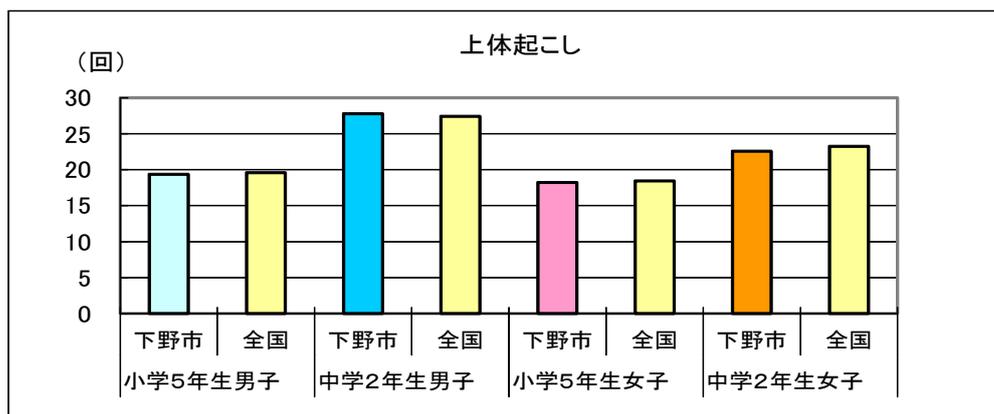
(2) 全国平均との比較から見える平成27年度の調査結果 (各種目)

ア 握力 (kg)



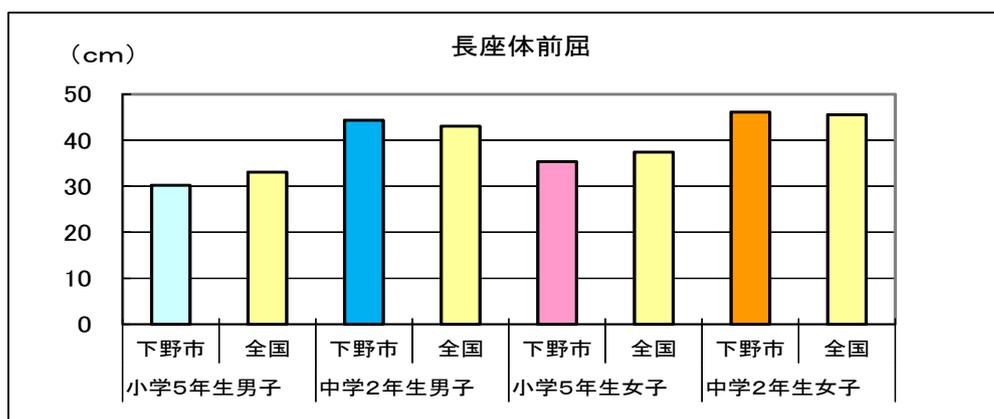
- ・中学2年生は、男女とも全国平均をやや上回り、女子の上回り方が大きかった。
- ・小学5年生は、男女とも全国平均を下回り、男子の下回り方が大きかった。

イ 上体起こし（回）



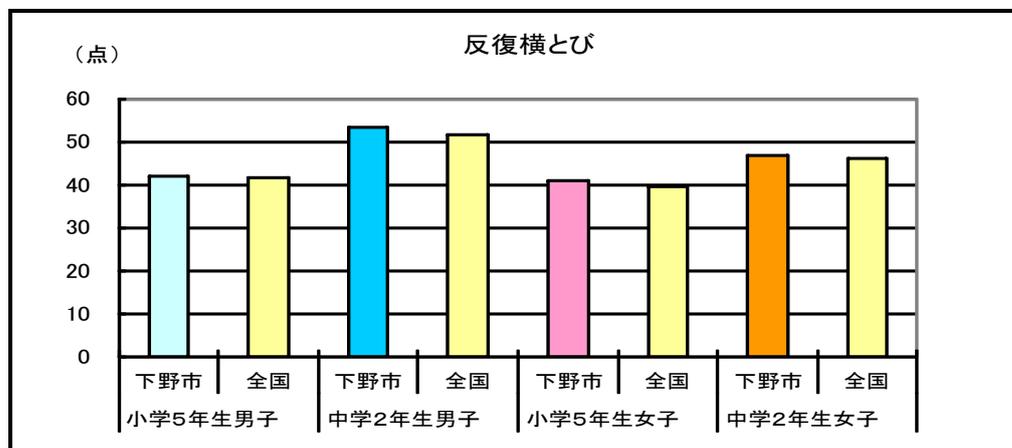
- ・ 中学2年生男子以外は、全国平均を下回った。
- ・ 中学2年生女子の結果は、小学5年生女子の結果と比べ全国平均との差が大きい。

ウ 長座体前屈（cm）



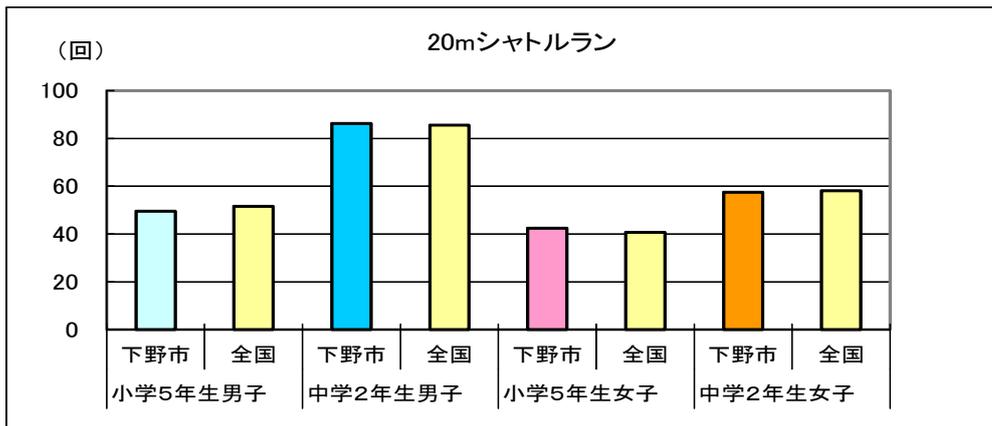
- ・ 中学2年生は男女とも全国平均を上回った。
- ・ 小学5年生は男女とも全国平均を大きく下回った。

エ 反復横とび（点）



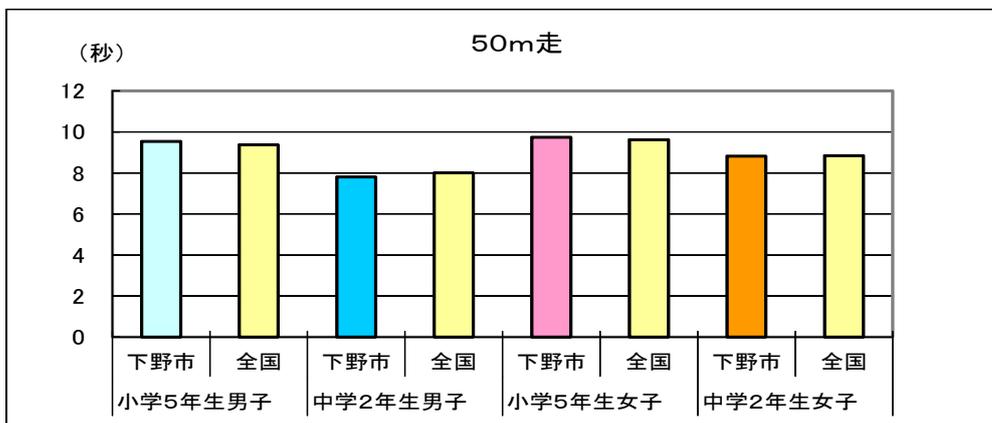
- ・ 全学年で全国平均を上回った。
- ・ 中学2年生男子と小学5年生女子は、全国平均を大きく上回った。

オ 20mシャトルラン（回）



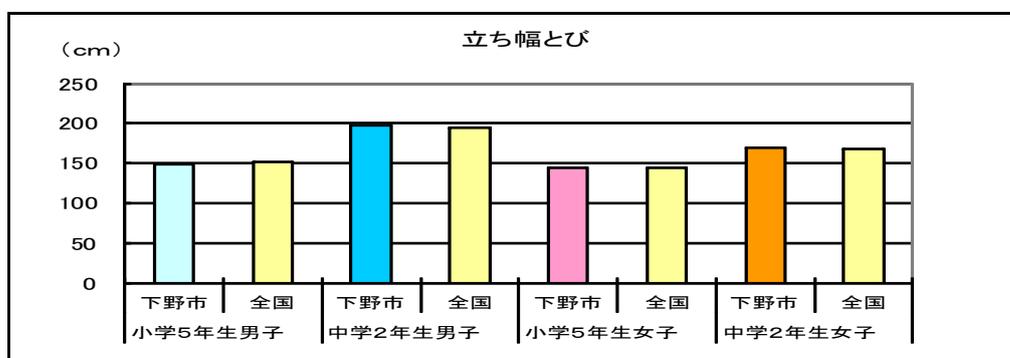
- ・ 中学2年生男子、小学5年生女子は、全国平均を上回った。
- ・ 小学5年生男子の結果は、全国平均との差がやや大きかった。

カ 50m走（秒）



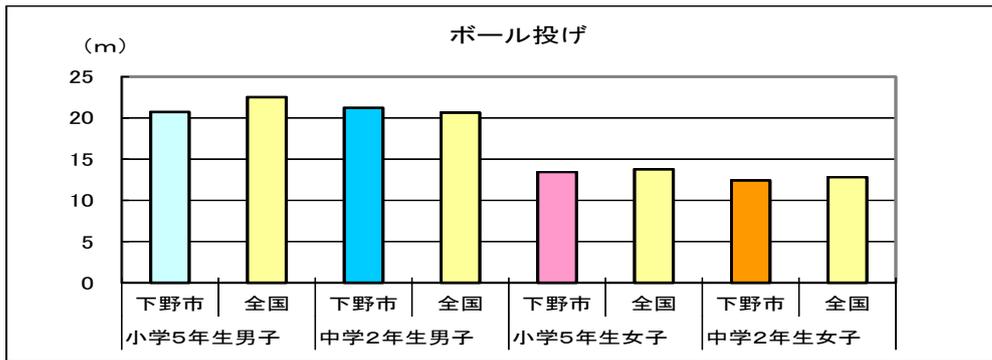
- ・ 中学2年生は男女とも全国平均を上回り、小学5年生は男女とも全国平均を下回った。
- ・ 小学5年生の男女とも全国平均の下回り方が、大きくなった。

キ 立ち幅とび（cm）



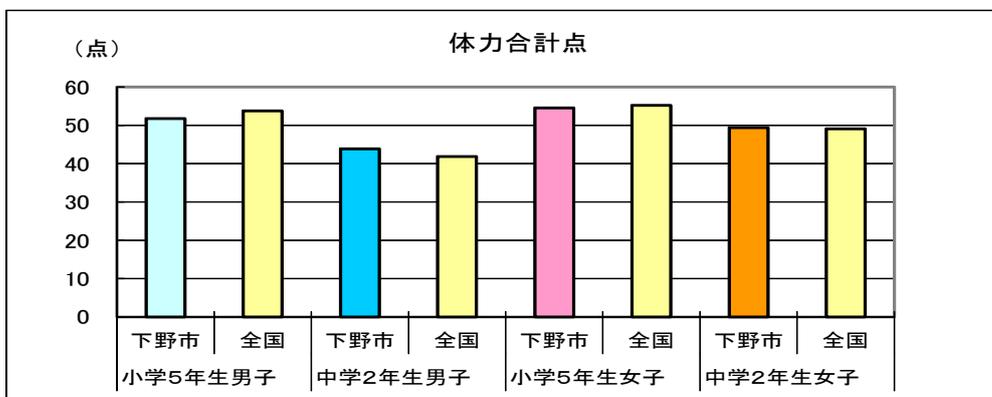
- ・ 中学2年生と小学5年生女子は、全国平均をやや上回った。
- ・ 小学5年生男子のみ、全国平均を下回った。

ク ソフトボール投げ・ハンドボール投げ (m)



- ・ 中学2年生男子のみが全国平均を上回った。
- ・ 全体的に全国平均との差が大きく、小学5年生男子の下回り方が大きかった。

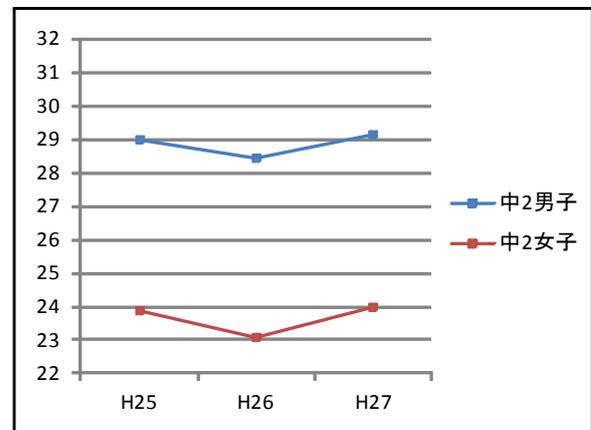
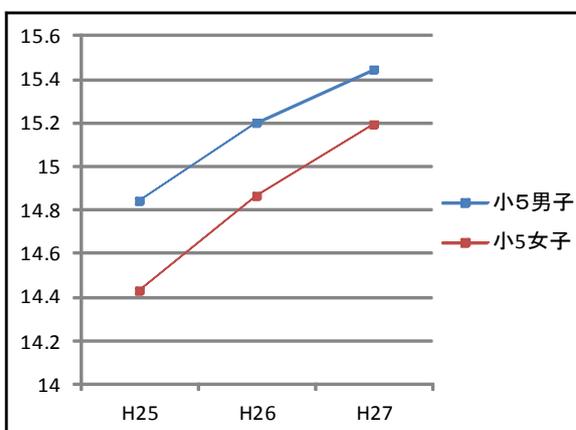
ケ 体力合計点 (点)



- ・ 中学2年生は、男女とも全国平均を上回った。特に男子の結果がよかった。
- ・ 小学5年生は、男女とも全国平均を下回った。特に男子は女子に比べ全国平均との差が大きかった。

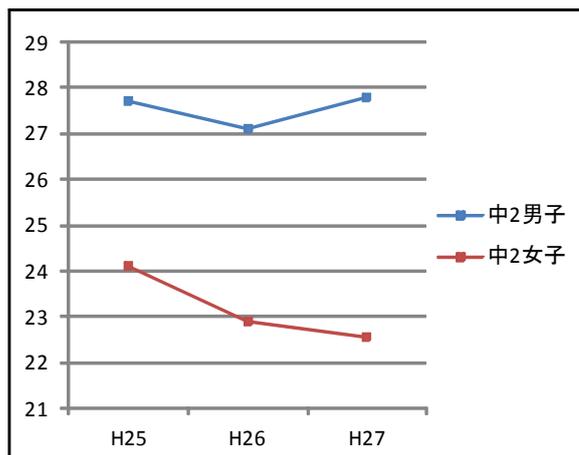
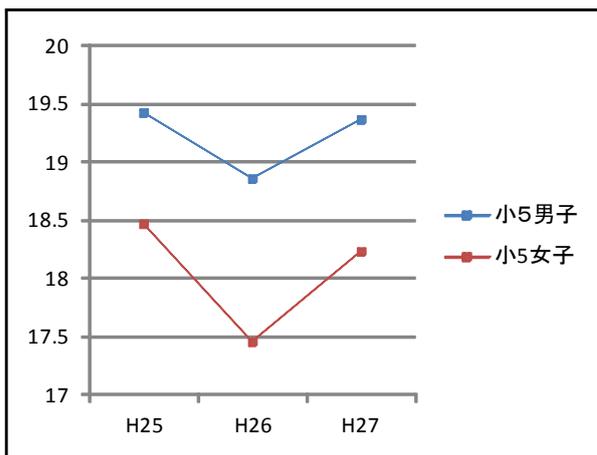
(3) 記録の推移から見える各種目の傾向

ア 握力 (kg)



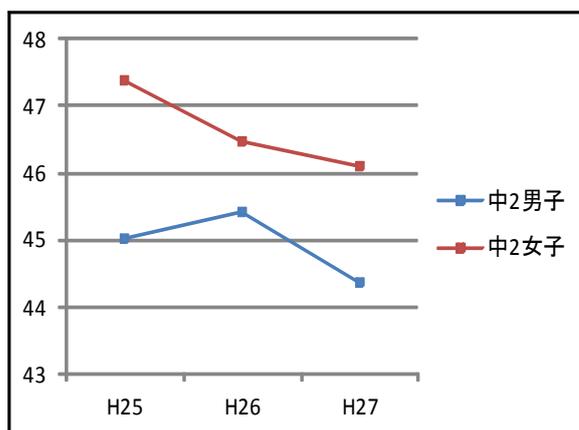
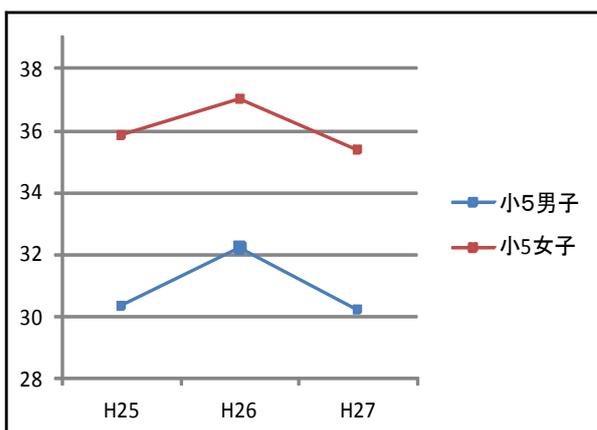
- ・ 小学5年生は、男女とも記録の上昇が見られた。
- ・ 中学2年生は、男女とも改善が見られ、今後記録の上昇が期待できる。

イ 上体起こし（回）



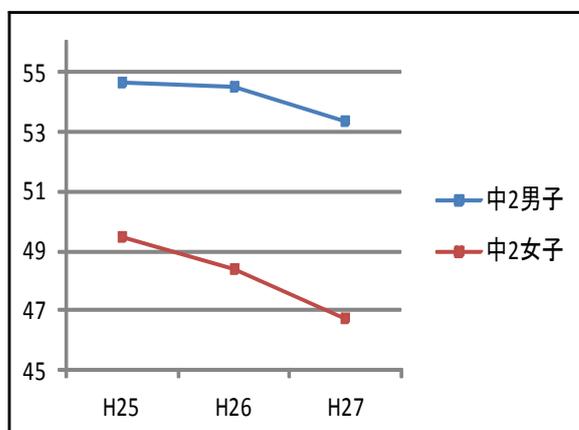
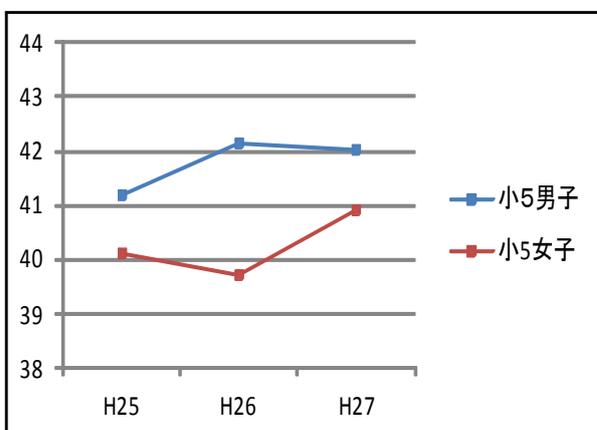
- ・小学5年生は、男女とも改善が見られたが、H25の記録には届かなかった。
- ・中学2年生は、男子は改善が見られたが、女子は低下傾向が続いた。

ウ 長座体前屈（cm）



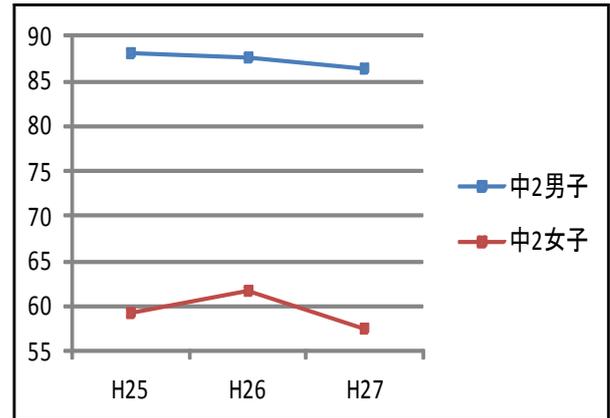
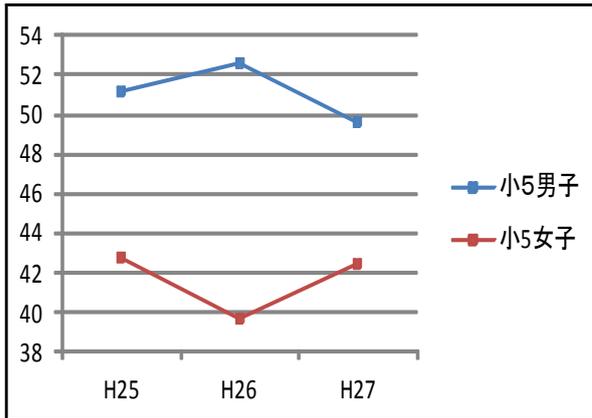
- ・全体的に記録の低下が見られる。H25の記録よりもすべて下回った。
- ・中学2年生女子は、低下傾向が続いた。

エ 反復横とび（回）



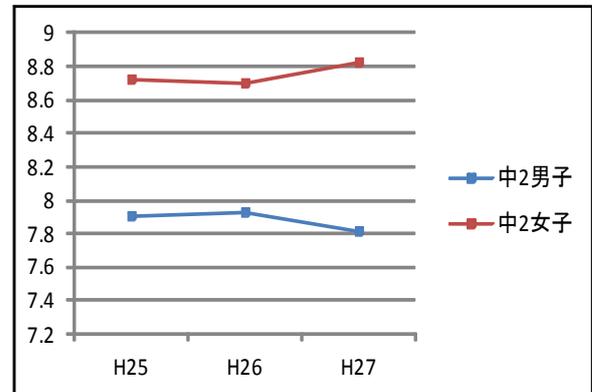
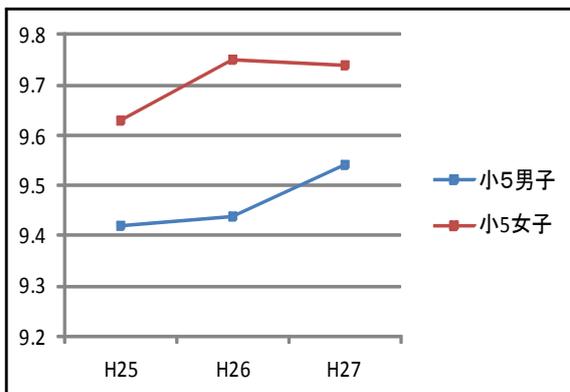
- ・小学5年生は、男女ともH25と比べて記録の上昇が見られた。
- ・中学2年生は、男女とも記録の低下が続いた。

オ 20mシャトルラン（回）



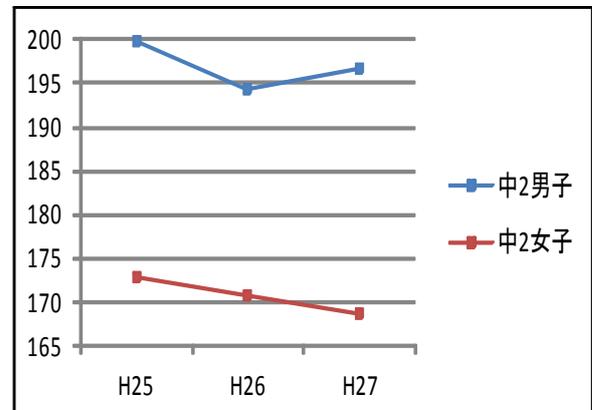
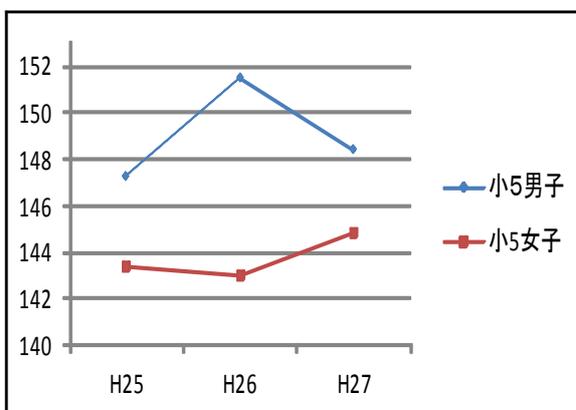
- ・ H25 に比べて、全体的に記録の低下が見られた。
- ・ 中学2年生男子では、記録の低下が続いた。

カ 50m走（秒）



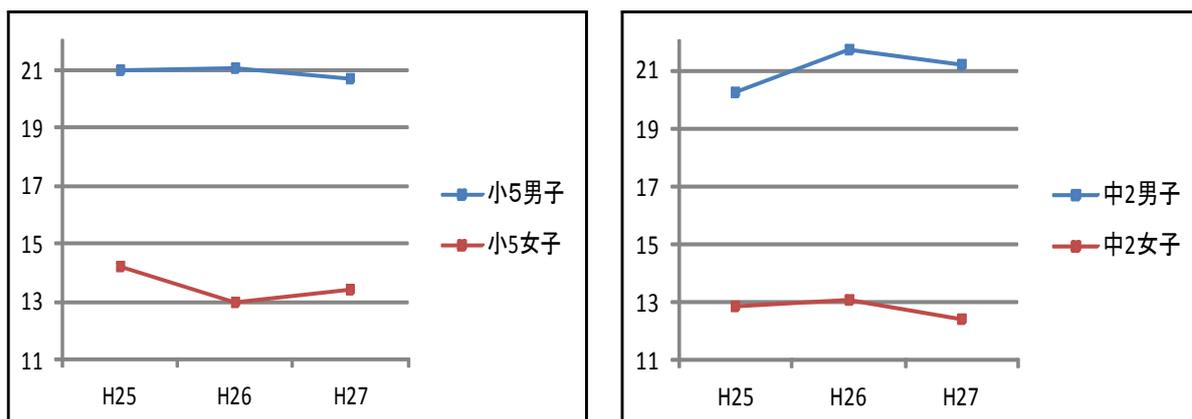
- ・ H25 に比べて、中学2年生男子以外は、記録の低下が見られた。
- ・ 小学5年生男子は、記録の低下が続いた。

キ 立ち幅とび（cm）



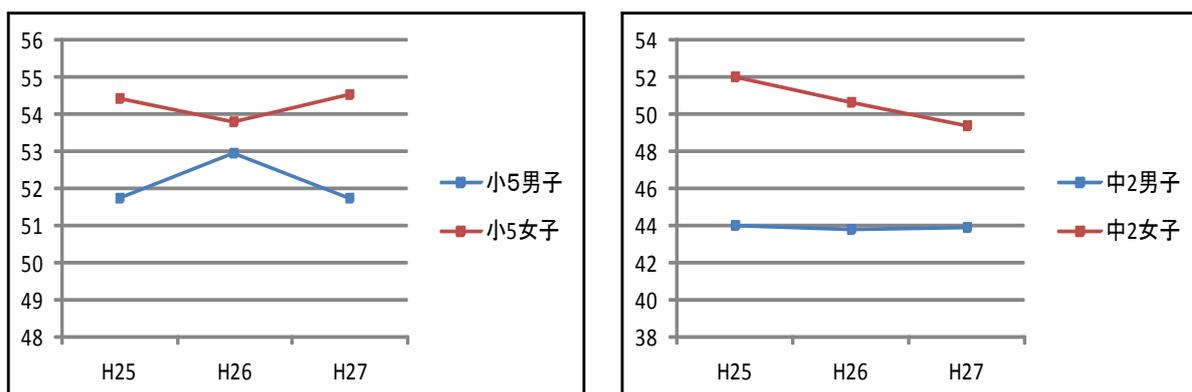
- ・ 小学5年生では、H25 に比べて記録の上昇が見られた。
- ・ 中学2年生では、H25 に比べて記録の低下が見られた。特に女子は低下が続いた。

ク ボール投げ（ソフトボール投げ・ハンドボール投げ）（m）



- ・小学5年生女子を除いて、記録の低下が見られた。
- ・中学2年生男子は、H26より記録はやや低下したが、H25より記録の上昇が見られた。

ケ 合計点（点）



- ・今年度は、小学5年生女子のみやや上昇が見られた。
- ・中学2年生女子のみ、合計点数の低下が続いた。

コ 総括

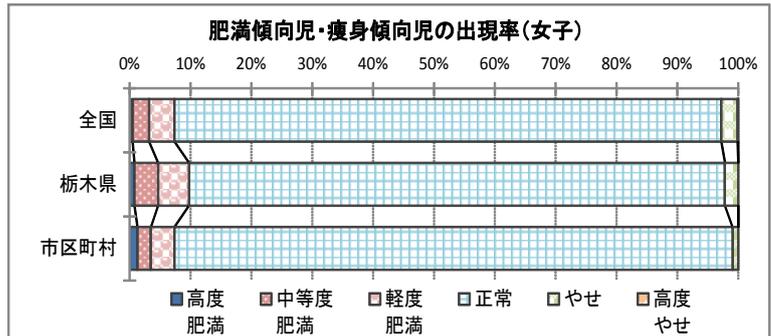
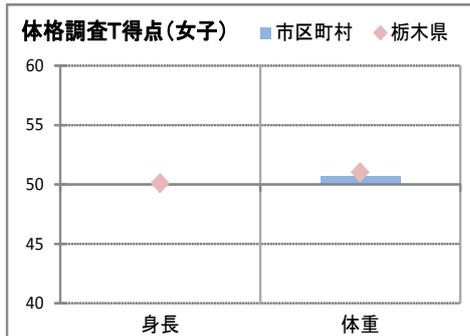
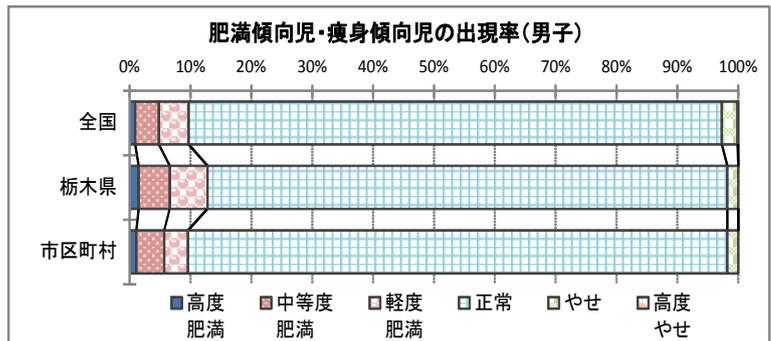
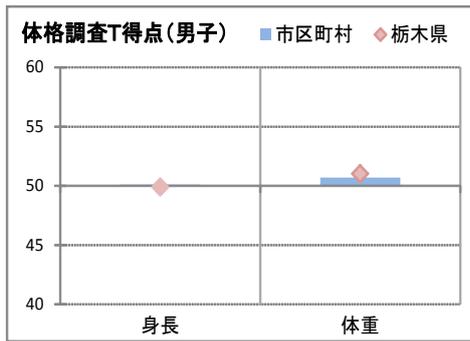
小学5年生では、全体的に緩やかな低下傾向にあった。特に、上体起こしや20mシャトルランで見られる筋持久力と長座体前屈で見られる柔軟性の低下が目立った。近年全国的に課題になっているボール投げでは、本市でも同様に低下傾向にあるが、握力においては、記録の上昇が見られた。

中学2年生でも、全体的に緩やかな低下傾向が見られた。特に女子においては、記録の低下が目立ち、H25の記録と比較すると、ほとんどの種目で記録が低下した。

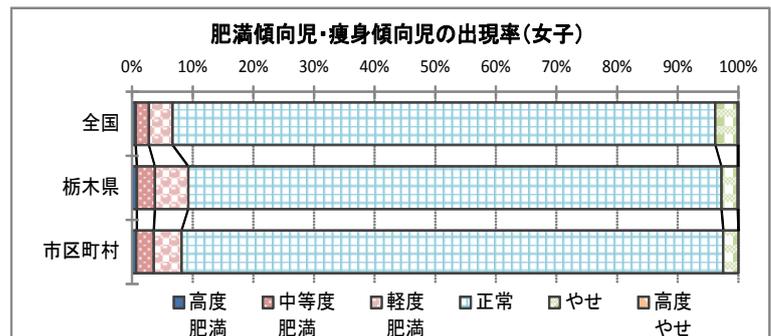
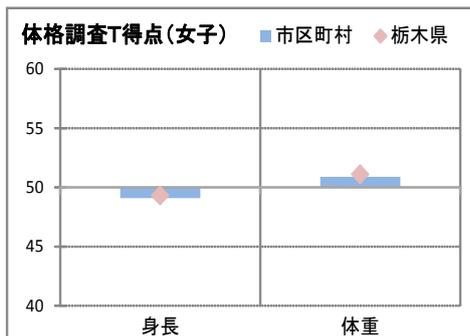
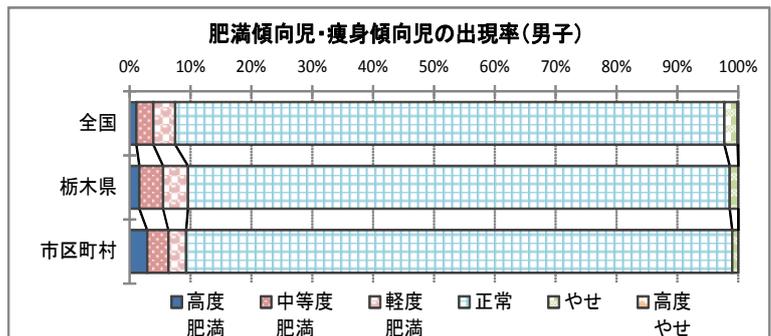
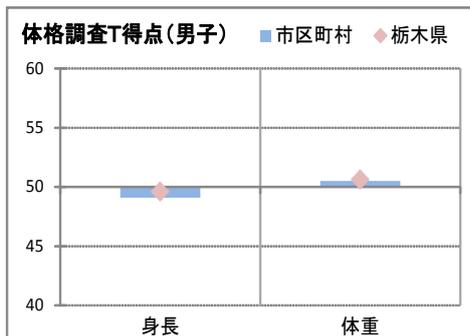
種目別で見ると、握力では男女とも記録の上昇が見られた。その反面、長座体前屈や反復横とびで記録の低下が目立つ。反復横とびは、ここ3年間常に全国平均を上回っている種目だが、記録は低下している。このことは、指導にあたって注意すべき点である。

3 体格調査結果について

(小学5年生)



(中学2年生)



- ・小学5年生は男女とも、身長は全国平均と同じであった。それに対して、体重は全国平均をやや上回った。
- ・中学2年生は男女とも、身長は全国平均をやや下回った。それに対して、体重は全国平均をやや上回った。
- ・肥満傾向の出現率は、小学5年生は全国平均とほぼ同じであるが、中学2年生は全国平均を上回った。

4 運動習慣等調査結果について

小学校5年男子	Q1.運動が好き				Q2.運動が得意			
	1.好き	2.やや好き	3.ややきらい	4.きらい	1.得意	2.やや得意	3.やや苦手	4.苦手
全国	74.0%	19.9%	4.3%	1.9%	48.8%	34.3%	12.7%	4.2%
下野市	74.7%	17.7%	6.9%	0.7%	50.0%	31.3%	14.2%	4.5%
中学校2年男子	Q1.運動が好き				Q2.運動が得意			
	1.好き	2.やや好き	3.やや嫌い	4.嫌い	1.得意	2.やや得意	3.やや苦手	4.苦手
全国	65.0%	24.6%	6.8%	3.5%	33.5%	39.7%	18.8%	8.0%
下野市	58.0%	30.3%	8.0%	3.8%	28.3%	40.1%	19.7%	11.8%
小学校5年女子	Q1.運動が好き				Q2.運動が得意			
	1.好き	2.やや好き	3.ややきらい	4.きらい	1.得意	2.やや得意	3.やや苦手	4.苦手
全国	56.4%	31.6%	8.8%	3.2%	30.9%	39.4%	22.0%	7.7%
下野市	58.5%	29.7%	9.7%	2.1%	28.8%	44.5%	18.2%	8.5%
中学校2年女子	Q1.運動が好き				Q2.運動が得意			
	1.好き	2.やや好き	3.やや嫌い	4.嫌い	1.得意	2.やや得意	3.やや苦手	4.苦手
全国	48.0%	31.2%	13.8%	7.0%	19.5%	36.2%	27.4%	16.9%
下野市	42.7%	29.5%	18.5%	9.3%	15.7%	33.2%	30.4%	20.7%

小学校5年男子	Q3.体力に自信がある				Q20.体育の授業は楽しい			
	1.自信がある	2.やや自信がある	3.あまり自信がない	4.自信がない	1.楽しい	2.やや楽しい	3.あまり楽しくない	4.楽しくない
全国	27.0%	38.8%	25.2%	9.0%	72.7%	21.8%	3.9%	1.7%
下野市	26.4%	36.1%	28.5%	9.0%	73.9%	20.9%	3.5%	1.7%
中学校2年男子	Q3.体力に自信がある				Q20.体育の授業は楽しい			
	1.自信がある	2.やや自信がある	3.あまり自信がない	4.自信がない	1.楽しい	2.やや楽しい	3.あまり楽しくない	4.楽しくない
全国	13.4%	37.0%	34.9%	14.8%	49.8%	38.4%	8.5%	3.3%
下野市	12.7%	31.5%	36.6%	19.1%	52.7%	36.3%	8.8%	2.2%
小学校5年女子	Q3.体力に自信がある				Q20.体育の授業は楽しい			
	1.自信がある	2.やや自信がある	3.あまり自信がない	4.自信がない	1.楽しい	2.やや楽しい	3.あまり楽しくない	4.楽しくない
全国	14.6%	37.8%	36.2%	11.4%	59.3%	31.7%	6.9%	2.1%
下野市	15.9%	40.8%	32.6%	10.7%	62.3%	29.7%	7.6%	0.4%
中学校2年女子	Q3.体力に自信がある				Q20.体育の授業は楽しい			
	1.自信がある	2.やや自信がある	3.あまり自信がない	4.自信がない	1.楽しい	2.やや楽しい	3.あまり楽しくない	4.楽しくない
全国	6.0%	28.6%	41.7%	23.8%	38.5%	44.0%	13.4%	4.1%
下野市	7.2%	24.0%	44.1%	24.7%	38.2%	45.7%	11.1%	5.0%

- ・本市の児童生徒は、全国の児童生徒と同様に運動が好きである。そのため、体育の授業を楽しく感じている。中学2年生女子は、運動が好きである割合がやや低いが、体育の授業が好きである割合は、全国平均よりも高い。これは、授業が興味・関心を高められるように工夫されている結果であろう。
- ・小学5年生に比べ中学2年生は、自分で運動が得意であると答える割合が減っている。これは成長の段階で、運動能力に対して自己理解が高まるからであろう。そのため、楽しく感じている体育の授業で、多くの成功体験を積み、成就感を感じさせることが必要であろう。
- ・体力に自信がある児童生徒が、全国に比べて少ない。自己肯定感や自己有用感が低い本市児童生徒の特徴であろう。運動が好きである児童生徒は、全国とほぼ同じ割合であるので、体育の授業をはじめ、教育活動全体や地域スポーツの場面で、指導者が指導の工夫や改善を行い、児童生徒1人1人の特徴を伸ばしていくことが必要であろう。